

回 覧												

久慈市のクマ対策の取組について

市民の皆様の安全・安心を守るため、久慈市ではクマの、目撃情報に基づき、防災行政無線・防災メール（安心・安全メール）・SNS（X）などによる迅速な情報発信と、久慈市鳥獣被害対策実施隊と連携した対応（捕獲）に取り組んでいます。今年度（4月～10月）のクマの出没情報と捕獲状況をご報告します。

【実績報告：4月～10月】

1. クマの出没情報

市民の皆様から寄せられた出没等の情報は、合計 **108** 件です。

市では、寄せられたすべての情報を集約し、対応の基礎情報としています。

【ツキノワグマ出没情報の内訳：4月～10月】

宇部	14	小久慈	9	山根	12
枝成沢	1	侍浜	7	市街地	3
大川目	7	夏井	11		
長内	14	山形	30	合計	108

2. 市の対応（捕獲）

市では、クマが短期間に同一箇所に繰り返し出没（農作物被害・うろつき被害等）し、地域住民の安全に危険が及ぶと判断する場合に実施隊と連携し、迅速な捕獲対応を行っています。

これまで（4月～10月）の捕獲頭数は、合計 **38** 頭です。

3. 目撃情報の配信

市では、クマの目撃の情報が寄せられた場合、注意喚起のために、目撃情報のあった地区へ防災行政無線で注意喚起の放送をしています。また、そのほかに、防災メール（安心・安全メール）、SNS（X）等で情報配信していますのでご活用ください。

防災行政無線
(放送内容)

放送内容にアクセスできます



防災メール
(安心・安全メール)

防災メールの登録ができます



SNS (X)
(久慈市行政無線)

Xアカウントにアクセスできます



裏面をご覧ください、クマによる人身被害を防ぐためにご協力をお願いします。

久慈市民の皆さんへ

クマによる人身被害を防ぎましょう

今年は山の実りが少なく、県内でもエサを求めてクマが人里に頻繁に出没しています。
正しい知識で被害を防ぎましょう。

☑ クマを「寄せつけない」ための【家の周りの対策】



生ごみ・廃棄物の管理を徹底！

優れた嗅覚を持つクマを誘引しないよう、生ごみやペットフード、米ぬか等の管理を徹底し、ごみ収集日の朝に出しましょう。



庭の果樹は早めに収穫する

収穫しないカキやクリはクマへの餌付けと同じです。放置せず収穫するか、不要な木は伐採も検討しましょう。



家の周りのやぶを刈り払う

やぶはクマの隠れ場所。家の周りや畑の周りを刈り、見通しを良くすることで、突然の鉢合わせを防ぎます。



屋外作業中は音を出す工夫を

クマが活発な朝夕の農作業や庭仕事は特に危険。ラジオや音楽で常に人の存在を知らせましょう。

☑ クマに「出会わない」ための【山に入る時の対策】



音を出して人の存在を知らせる

クマよけの鈴やラジオを携帯し、沢沿いや見通しの悪い場所では特にこまめに音を出し、存在を知らせましょう。



単独行動は絶対に避ける

複数人で行動すれば、より大きな音や匂いでクマが先に気づき、人を避けてくれます。単独での入山は大変危険です。



クマが活発な朝夕は特に注意

クマは早朝と夕方の薄暗い時間帯に最も活発に行動します。この時間帯に山に入るのは、なるべく避けましょう。



新しいフンや足跡は危険のサイン

新しい痕跡はクマが近くにいる証拠です。静かにその場を離れ、すぐに引き返してください。

⚠️ もし、クマに「出会ってしまったら」…

▶ 走らない！騒がない！

背を向けて走ると、クマの「追いかける」本能を刺激します。大声を出さず落ち着いてください。

▶ 静かに、ゆっくりと後ずさりする！

クマから目を離さず、急な動きをせずゆっくり後退します。距離をとりましょう。

▶ 子グマには絶対に近づかない！

子グマの近くには必ず母グマがいます。子を守る母グマは非常に攻撃的で危険です。すぐにその場を離れてください。

【万が一、襲われたら】

地面にうつ伏せになり、両手で首の後ろをガードして、頭と首を守ってください。これは致命傷を避けるための最終手段です。

家の周りでクマを目撃したときは、下記までご連絡ください。

久慈地区：久慈市役所（林業水産課）

☎ 0194-52-2122

山形地区：山形総合支所（産業建設課）

☎ 0194-72-2129